



Embassy
of the Republic of Poland
in Tokyo



2022年6月22日

駐日ポーランド共和国大使館、ポーランド広報文化センター

ニュースリリース

羽ばたく女性研究者賞（マリア・スクウォドフスカ＝キュリー賞）授賞式

2022年5月17日、駐日ポーランド共和国大使館において、第1回「羽ばたく女性研究者賞（マリア・スクウォドフスカ＝キュリー賞）」授賞式が国立研究開発法人 科学技術振興機構（JST）との共催で開催されました。日本の若手女性研究者を対象にした本賞は、マリア・スクウォドフスカ＝キュリーがポーランド出身であることを広く紹介し、女性が科学者の道を邁進する励みとなるよう、またポーランドの研究機関との交流を通じて研究活動の国際化を図ることを目的に創設されました。



記念すべき第1回の最優秀賞受賞者は山下 真由子氏（26歳）です。山下氏は非可換幾何学を専門とする数理解析学者であり、現在は京都大学数理解析研究所にて助教をされています。副賞の一環として、山下氏は将来的な共同研究の実施を視野に、今秋ポーランドの研究機関を訪問される予定です。

続く奨励賞を、理化学研究所にて宇宙物理学を研究されている木邑真理子氏、並びにエモリー大学の感染症疫学者である塩田佳代子氏が、特別賞をノルウェー生命科学大学にてゲノム進化学を研究されている齊藤真理恵氏が受賞されました。全ての受賞者に最先端理化学機器のリーディングカンパニーである日本電子株式会社（JEOL）より賞金、当大使館および国立研究開発法人 科学技術振興機構（JST）より賞状とマリア・スクウォドフスカ＝キュリーの生涯と研究に関する書籍が贈呈されました。

大使館で開催された授賞式には、日本人 8 名、在日ポーランド人 1 名の外部有識者からなる選考委員会、科学技術振興機構、日本電子株式会社をはじめ、研究、国際協力を支援する機関および学界から 50 名が参列されました。

更に、高円宮妃殿下が本賞名誉総裁として御成りになられ、表彰委員会を代表され、最優秀賞受賞者に記念の像を贈呈されました。本像はポーランドの若手アーティストの作品であり、ポーランド広報文化センターが美術大学の学生を対象にデザインを公募した結果選ばれました。表彰委員会委員として、森まさこ内閣総理大臣補佐官（女性活躍担当）ならびに吉祥瑞枝 東京理科大学理数教育研究センター客員研究員・サイエンス スタジオ・マリー（SSM）主宰にもご臨席いただきました。式典後には懇親会が開催されポーランド料理が供されました。

第 1 回羽ばたく女性研究者賞（マリア・スクウォドフスカ＝キュリー賞）は、多くの若手女性研究者の関心を得ることができ、80 名もの方々にご応募いただきました。本賞が来年以降も回を重ねるごとに日本の若手女性研究者の方々に普及し、マリア・スクウォドフスカ＝キュリーがポーランド出身であることの認知と科学研究分野における日本・ポーランド協力の発展に資することを願っています。

文責：駐日ポーランド共和国大使館

駐日ポーランド共和国大使館

<https://www.gov.pl/web/japonia/ambasada>

tokio.amb.sekretariat@msz.gov.pl

Twitter: @PLinTokyo

Facebook: <https://www.facebook.com/Ambasada-RP-w-Tokio>

ポーランド広報文化センター

<https://instytutpolski.pl/tokyo/>

tokio@instytutpolski.pl

Twitter: @PLInst_Tokyo

Facebook: <https://www.facebook.com/InstytutPolskiTokio/>